

注3

大学番号：私短002

[平成25年度設置]

計画の区分：短大学科の設置

注1

届出

札幌大学女子短期大学部 キャリアデザイン学科

注2

## 【届出】改善意見等対応状況報告書

学校法人札幌大学  
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画室

職名・氏名 シュカン トミオカ アキラ  
主幹 富永 晃

電話番号 011-852-9135

（夜間） 011-852-1181

F A X 011-856-8268

e-mail sutandai@ofc.sapporo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人札幌大学

## (2) 大学名

札幌大学女子短期大学部

## (3) 大学の位置

〒062-8520

北海道札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サトウ トシオ) 佐藤 俊夫 (平成21年8月20日)		
学長	(クワバラ マサト) 桑原 真人 (平成23年4月1日)		
学部長			
学科長等	<del>(カゲヤマ ヒロユキ)</del> 景山 弘幸 <del>(平成25年4月1日)</del>		副学長職を設け、学科長職を空位としたため (平成27年4月1日) (27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
キャリアデザイン学科 短期大学士(教養)	2年	80人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	80人 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	80人 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	80人 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	0.44倍	0.45倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	75 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	60 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	61 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	75 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	60 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	61 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	72 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	58 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	61 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	41 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	30 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	38 ( - ) [ - ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A			0.51		0.37		0.47				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ - ] ( - ) 41	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 30	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 38	[ - ] ( - )		
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ - ] ( - ) 38	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 29	[ - ] ( - )		
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次					/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ - ] ( - ) 41			[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 68	[ - ] ( - )	[ - ] ( - ) 67

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	41 人	4 人	平成25年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、就職(1人)	9.8 %
			平成26年度	1 人	0 人	就職(1人)	
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	30 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	3.3 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	38 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	109 人	5 人					4.6 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<キャリアデザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	思想と文化	哲学のすすめ	1・2前	2							兼1	担当者育児休業取得のため (27) <del>通常開講 (26)</del> <del>履修希望者がいなかったため (26)</del>	
		倫理と社会	1・2後	2							兼1		
			1・2後										
			<del>1・2前</del>										
			未開講										
		世界の文学	1・2前	2							兼1	オムニバス形式で開講 (27) <del>科目調整 (26)</del> <del>履修希望者がいなかったため (26)</del>	
			1・2後							兼3			
			<del>未開講</del>										
			未開講										
		歴史と文化	1・2前	2							兼1		
		日本の歴史	1・2前	2		1							
		小計 (5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0		
		社会と人間	くらしと経済	1・2前									時間割の都合上 (27)
			くらしと社会	1・2後	2		1						
			女性のための法律	1・2前	2		1					兼1	
			1・2後	2		1					兼1	担当者変更・時間割の都合上 (27)	
			<del>1・2後</del>	2		1							
		小計 (3科目)	—	0	6	0	2	0	0	0	0		
		自然と人間	自然と人間	1・2前	2							兼1	時間割の都合上 (25)
	環境といのち		1・2後	2							兼1		
	生物の社会		1・2後	2							兼1		
	小計 (3科目)		—	0	6	0	0	0	0	0	0		
	心と身体	健康論	1・2前後									学生の履修機会の拡充 (26) <del>時間割の都合上 (25)</del>	
			1・2後										
			<del>1・2前</del>	2							兼1		
		体育実技	1・2前後	1							兼10		
		心とからだA	1・2前	2							兼1		
	心とからだB	1・2後	2							兼1			
	小計 (4科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0			
専門科目	キャリア系	キャリアデザイン	1後	2					1		兼1	担当者変更・時間割の都合上 (27)	
			<del>1前</del>										
			1前	2							兼1	時間割の都合上 (27)	
		ライフデザイン	1後	2							兼1		
		ビジネスマナー概論	1前	2							兼1		
		ビジネスマナー実習A	1・2前	2							兼1		
		ビジネスマナー実習B	1・2後	2							兼1		
								0					担当者減員 (27)
								1					<del>配置人数の調整 (26)</del>
		社会人基礎 A I	1前	2		1		2					配置人数の調整 (26)
								0					担当者減員 (27)
								1					<del>配置人数の調整 (26)</del>
	社会人基礎 A II	1後	2		1		2					配置人数の調整 (26)	
						0					担当者減員 (27)		
社会人基礎 B I	1前	2		1		1			兼1	担当者減員 (27)			
						0							
社会人基礎 B II	1後	2		1		1			兼1				
生活と情報	1前	2		2					兼1		時間割の都合上 (26)		
ビジネス文書作成	1・2後	2							兼1				
ビジネスデータ分析	<del>1・2前</del>	2							兼1				
	1・2後	2							兼1				
小計 (12科目)	—	14	10	0	1	2	0	1	0	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	コミュニケーション系	英語 I	1前	2		2	0	1				兼1 担当者変更 (27) <del>科目調整 (26)</del>	
		英語 II	1後	2		0	0	2	1			担当者変更 (27) <del>科目調整 (26)</del>	
		英語 III	2前	2		2	1	0	2	0		兼0 担当者変更 (27) <del>科目調整 (26)</del>	
		英語 IV	2後	2		2	1	0	0	1		兼2 担当者変更 (27) <del>科目調整 (26)</del>	
		中国語 I	1前	2		1							
		中国語 II	1後	2		1							
		中国語 III	2前										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
			1前	2		1							兼1 教育効果を高めるため担当者追加 (26)
		中国語 IV	2後										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
			1後	2		1							兼1 担当者変更 (26)
		ロシア語 I	1前	2									兼1 担当者減員 (27)
		ロシア語 II	1後	2									兼2 担当者減員 (27)
			2前										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		ロシア語 III	1前	2									兼1 レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		ロシア語 IV	2後										兼1 教育効果を高めるため担当者追加 (27)
			1後	2									兼4 教育効果を高めるため担当者追加 (27)
		メディア英語 I	1前	2				1					兼2 履修者がいなかったため (27)
		メディア英語 II	1後	2				1					レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		時事英語 I	1前	2				1					兼2 履修者がいなかったため (27)
			2後										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		時事英語 II	1・2前										兼2 学生の履修機会の拡充 (26)
			2前										レベル別授業のため配当年次を変更 (25)
		国際交流入門	1・2後	2				1					兼1 学生の履修機会の拡充 (26)
		小計 (21科目)	—	0	42	0	3	1	0	0	0		兼1 時間割の都合上 (27)
		ビジネス系	生活と金融	1前									通常開講 (26)
			現代金融事情	1前	2			1					履修希望者がいなかったため (26)
1後	2					1							
簿記 I	1前		2			1							
簿記 II	1後		2			1							
会社と経営	1前		2			1							
マーケティング総論	1前		2								兼1 通常開講 (27)		
ストアオペレーション	1前	2								兼1 履修希望者がいなかったため (26)			
流通販売総論	1後	2								兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ビジネス系	ビジネス関連法 情報プレゼンテーション	1前 未開講 未開講		2								通常開講 (27) <del>科目調整 (26)</del> 担当者死去	
	観光サービス論 エアラインサービス	1前 1後 未開講		2								兼1 兼1 科目調整 (26)	
	札幌学	1前 1後		2		0						兼1 兼2 分野削減による担当者減員 (27) <del>担当者追加・変更 (26)</del>	
	札幌学	2前		2		1						兼3	
	小計 (13科目)	—	0	26	0	4	0	0	0	0			
専門科目	ゼミナール I	1前 1前・後	2			4 3 6			1			担当者変更 (27) <del>配置人数の調整 (26)</del>	
	ゼミナール II	1後	2			4 3 6			1			担当者変更・期別「前」は再履修者対象 (27) <del>配置人数の調整 (26)</del>	
	ゼミナール III	2前	2			4 3 6			1			担当者変更・学生の履修希望による (27) <del>学生の履修希望による (26)</del>	
	ゼミナール IV	2後 未開講	2			4 5 6						担当者変更・学生の履修希望による (27) <del>学生の履修希望による (26)</del> 履修者がいなかったため (27)	
	地域社会実習 A	1前 1後 1前	1								兼1	時間割の都合上 (27) <del>時間割の都合上 (26)</del>	
	地域社会実習 B	1後	1				1					兼1	
	地域社会実習 C	1後 1後 未開講	1									兼1	担当者留学研修のため (27) <del>科目調整 (26)</del>
	地域社会演習 A	1前 1前	2									兼1	時間割の都合上 (27)
	地域社会演習 B	1後	2									兼1	
	インターンシップ	1・2後	2				1						
	海外研修	1・2後	2				1						
	小計 (11科目)	—	8	11	0	4 6 3	0	0	1 0 0	0			
	合計 (72科目)	—	22	118	0	6 7	3	0	1 0	0			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 11	科目 61	科目 0	科目 72	科目 11 [ 0 ]	科目 61 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 72 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	観光サービス論	2	1	専門	選択	予定兼任教員の本務校の都合

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当兼任教員の本務校の都合によるやむを得ない措置である。なお、次年度以降は専任担当教員を確保し開講する予定である。学生にはオリエンテーション・ガイダンスで周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{1.38\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	札幌大学と共用			
	校舎敷地	0㎡	90,142.00㎡	0㎡	90,142.00㎡				
	運動場用地	0㎡	91,804.36㎡	0㎡	91,804.36㎡				
	小 計	0㎡	181,946.36㎡	0㎡	181,946.36㎡				
	そ の 他	0㎡	66,528.17㎡	0㎡	66,528.17㎡				
	合 計	㎡	248,474.53㎡	0㎡	248,474.53㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	札幌大学と共用				
	1,969.00㎡ (1,969.00㎡)	51,034.97㎡ (51,034.97㎡)	16,238.49㎡ (16,238.49㎡)	69,242.60㎡ (69,242.60㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	札幌大学と共用			
	65 68室	52室	5室	14 11室 (補助職員 2人)	5室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	キャリアデザイン学科		10 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	除籍等による図書の増減 (27)	
	キャリアデザイン 学科	54,199 [11,087] (51,803 [13,379]) -(53,011 [10,919])	264 [88] (461 [99]) -(264 [88])	/	828 (702) -(804)	/	/		
	計	54,199 [11,087] (51,803 [13,379]) -(53,011 [10,919])	264 [88] (461 [99]) -(264 [88])	/	828 (702) -(804)	/	/		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	取 納 可 能 冊 数			札幌大学と共用		
	7,525.17㎡		687	80万					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				札幌大学と共用		
	4,897.97㎡		野球場		サッカー場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等については札幌大学と共同
		教員1人当り研究費等	400千円	300 400千円	図書購入費	3,870千円	3,870千円	3,870千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	48,000千円	48,000千円	48,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,090千円	890千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	札幌大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部経済学科	4	—	—	—	学士 (経済学)	—	昭和42年度		平成25年度より 学生募集停止
外国語学部英語学科	4	—	—	—	学士 (英語)	—	昭和42年度		平成25年度より 学生募集停止
外国語学部ロシア語学科	4	—	—	—	学士 (ロシア語)	—	昭和42年度		平成25年度より 学生募集停止
経営学部経営学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	昭和43年度		平成25年度より 学生募集停止
法学部法学科	4	—	—	—	学士 (法学)	—	平成元年度		平成25年度より 学生募集停止
文化学部文化学科	4	—	—	—	学士 (文化学)	—	平成19年度	北海道札幌市豊 平区西岡3条7 丁目3番1号	平成25年度より 学生募集停止
地域共創学群人間社会学域	4	900	—	3600	学士 (経済学) 学士 (英語) 学士 (ロシア語) 学士 (経営学) 学士 (法学) 学士 (文化学)	0.76	平成25年度		
大学の名称	札幌大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	収定容員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法学研究科法学専攻	2	10	—	20	修士 (法学)	0.50	平成9年度		
経営学研究科経営学専攻	2	10	—	20	修士 (経営学)	0.65	平成11年度		
外国語学研究科英語学専攻	2	5	—	10	修士 (英語学)	0.20	平成12年度	北海道札幌市豊 平区西岡3条7 丁目3番1号	
外国語学研究科ロシア語学専攻	2	3	—	6	修士 (ロシア語学)	0.20	平成12年度		
経済学研究科地域経済政策専攻	2	10	—	20	修士 (経済学)	0.20	平成13年度		
文化学研究科文化学専攻	2	10	—	20	修士 (文化学)	0.65	平成13年度		

大学の名称	札幌大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
キャリアデザイン学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (教養)	倍			
	2	80	—	160		0.44	平成25年度	北海道札幌市豊 平区西岡3条7 丁目3番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況  
 <キャリアデザイン学科>  
 (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	イヅミ タカシ 泉 敬史 (54)	平成25年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	専任	教授	イヅミ タカシ 泉 敬史 (56)	平成25年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	担当者変更 (26)
専任	教授	カケヤマ ヒロユキ 景山 弘幸 (53)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 時事英語 I 時事英語 II ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	専任	教授	カケヤマ ヒロユキ 景山 弘幸 (55)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 時事英語 I 時事英語 II ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV 社会人基礎 A I 社会人基礎 A II	担当者変更 (27) 担当者変更 (27) 担当者変更 (26) 担当者変更 (27) 担当者変更 (26) 担当者変更 (27) 担当者追加・変更 (26) 担当者追加・変更 (26)
専任	教授	カネシロ ヒロキ 金城 秀樹 (66)	平成25年4月	女性のための法律 札幌学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	専任	教授	カネシロ ヒロキ 金城 秀樹 (68)	平成25年4月	女性のための法律 札幌学 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	平成27年3月 金城秀樹教授定年退職による変更
専任	教授	グリーン ウィリアム グリーン、ウィリアム (47)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	専任	教授	グリーン ウィリアム グリーン、ウィリアム (49)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	担当者変更 (27) 担当者変更 (26) 担当者変更 (27) 担当者変更 (26) 担当者変更 (27)
専任	教授	サカイ ヨシツグ 佐藤 芳次 (66)	平成25年4月	簿記 I 簿記 II ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV						
専任	教授	マツモト ケンタロウ 松本 源太郎 <65>	平成25年4月	くらしと経済 生活と金融 現代金融事情 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	専任	教授	マツモト ケンタロウ 松本 源太郎 <67>	平成25年4月	くらしと経済 生活と金融 現代金融事情 ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	担当者減員 (27) 担当者減員 (27) 担当者減員 (27) 担当者減員 (27)
専任	教授	ミヅキ ヨシオ 三ツ木 芳夫 (64)	平成25年4月	会社と経営 日本の歴史 社会人基礎 B I 社会人基礎 B II ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	専任	教授	ミヅキ ヨシオ 三ツ木 芳夫 (66)	平成25年4月	会社と経営 日本の歴史 社会人基礎 B I 社会人基礎 B II ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	担当者減員 (27) 担当者減員 (27)

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	ハベノ ムネヨシ 長谷部 宗吉 (65)	平成25年4月	社会人基礎 A I 社会人基礎 A II インターンシップ	専任	准教授	ハベノ ムネヨシ 長谷部 宗吉 (67)	平成25年4月	<del>社会人基礎 A I</del> <del>社会人基礎 A II</del> インターンシップ	担当者減員(27) 担当者減員(27)
専任	准教授	ブラウン ダイアン ブラウン、ダイアン (48)	平成25年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV 地域社会実習 B	専任	准教授	ブラウン ダイアン ブラウン、ダイアン (50)	平成25年4月	英語 I <del>英語 II</del> <del>英語 III</del> 英語 IV <del>英語 IV</del> 地域社会実習 B メディア英語 I メディア英語 II	担当者変更(26) 担当者変更(27) 担当者変更(27) 担当者変更(27) 担当者変更(26) 担当者変更(25) 担当者変更(25)
専任	准教授	マツダ シュン 松田 潤 (65)	平成25年4月	社会人基礎 A I 社会人基礎 A II 海外研修	専任	准教授	マツダ シュン 松田 潤 (67)	平成25年4月	<del>社会人基礎 A I</del> <del>社会人基礎 A II</del> 海外研修	担当者減員(27) 担当者減員(27)
					専任	助教	ヨコヤマ コウジ 横島 公司 (41)	平成27年4月	キャリアデザイン ゼミナール I ゼミナール II ゼミナール III ゼミナール IV	平成27年4月 新規採用
					兼任	講師	フキノ ヒロユキ 浅野 弘 (46)	平成26年4月	札幌学	担当者減員(27) 分野別に担当者名配置(26)
兼任	講師	イダ ウメコ 飯田 梅子 (39)	平成25年4月	ロシア語 I ロシア語 II ロシア語 III ロシア語 IV						
兼任	講師	イノウエ アツコ 井上 敦子 (57)	平成25年4月	コリア語 III コリア語 IV	兼任	講師	イノウエ アツコ 井上 敦子 (59)	平成25年4月	コリア語 I コリア語 II コリア語 III コリア語 IV	担当者追加・変更(26) 担当者追加・変更(26)
兼任	講師	イノウエ シゲオ 井上 繁夫 (63)	平成25年4月	地域社会実習 C	兼任	講師	モモイ エツコ 百井 悦子 (63)	平成27年4月	地域社会実習 C	担当者変更(27)
兼任	講師	イワタ ユキ 岩倉 由貴 (32)	平成25年4月	マーケティング総論	兼任	講師	ツノダ ミチエ 角田 美知江 (49)	平成27年4月	マーケティング総論	担当者変更(27)
					兼任	講師	イトノ シンジ 佐藤 芳彰 (63)	平成26年4月	<del>マーケティング総論</del>	担当者変更(26)
					兼任	講師	オオタカ ナツコ 大高 千映子 (42)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記(26)
					兼任	講師	イノエ ヒロユキ 尾田 智彦 (55)	平成26年4月	英語 III	担当者変更(27) 担当者変更(26)
兼任	講師	カシワザ ケイジ 梶浦 桂司 (45)	平成25年4月	ビジネス関連法	兼任	講師	カシワザ ケイジ 河森 計二 (41)	平成27年4月	ビジネス関連法	担当者変更(27)
					兼任	講師	オミツケ ミホ 上机 美穂 (40)	平成27年4月	女性のための法律	担当者変更(27)
					兼任	講師	イノモト ヒロユキ 何 木 照 (38)	平成26年4月	中国語 III 中国語 IV	担当者変更(27) 担当者追加・変更(26) 担当者変更(26)
					兼任	講師	カハミ シュン 川上 淳 (60)	平成27年4月	歴史と文化	オムニバスによる担当者名追記(27)
					兼任	講師	カハミ ヒロミ 川名 広文 (59)	平成27年4月	歴史と文化	オムニバスによる担当者名追記(27)
兼任	講師	カハタ ケイジ 河村 康泰 (47)	平成25年4月	心とからだ A						
					兼任	講師	キン マコト 金 誠 (41)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記(26)
兼任	講師	イトノ ケイジ 工藤 孝史 (59)	平成25年4月	哲学のすすめ						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	クドウ トシコ 工藤 利彦 (58)	平成25年4月	自然と人間 生物の社会						
兼任	講師	クノ ミエ 久野 弓枝 (45)	平成25年4月	地域社会実習A 国際交流入門						
					兼任	講師	コイケ ノブミ 小池 紀文 (62)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記(26)
兼任	講師	ゴトウ ヨシヒサ 後藤 善久 (47)	平成25年4月	メディア英語 I メディア英語 II	兼任	講師	ゴトウ ヨシヒサ 後藤 善久 (49)	平成25年4月	メディア英語 I メディア英語 II 英語 I 英語 II	担当者変更(25) 担当者変更(25) 担当者変更(27) 担当者変更(27)
兼任	講師	コヤマ シゲル 小山 茂 (48)	平成25年4月	キャリアデザイン 生活と情報 ライフデザイン 地域社会演習B ビジネスデータ分析	兼任	講師	コヤマ シゲル 小山 茂 (50)	平成25年4月	キャリアデザイン 生活と情報 ライフデザイン 地域社会演習B ビジネスデータ分析 ビジネス文書作成	担当者変更(27) 担当者変更(27)
					兼任	講師	ジダノワ ケンジミル ジダノワ ウラジミル (66)	平成27年4月	ロシア語 I ロシア語 II	担当者追加・変更(27)
					兼任	講師	ジダノワ ナターリヤ ジダノワ ナターリヤ (63)	平成26年4月	ロシア語 I ロシア語 II ロシア語 III ロシア語 IV	担当者追加・変更(26) 担当者追加・変更(26) 担当者追加・変更(26) 担当者追加・変更(26)
					兼任	講師	ソノノ フミシ 宗野 文俊 (44)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記(26)
					兼任	講師	タカハシ ケンイチロウ 高橋 健一郎 (43)	平成27年4月	ロシア語 I ロシア語 II	担当者追加・変更(27)
					兼任	講師	タキモト セイ 滝元 誠樹 (45)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記(26)
兼任	講師	チハヒ ヒロマサ 千葉 博正 (65)	平成25年4月	流通販売総論						
兼任	講師	チュウバチ レイジ 中鉢 令兒 (64)	平成25年4月	観光サービス論						
兼任	講師	ウカハラ フミオ 東原 文郎 (35)	平成25年4月	地域社会演習A	兼任	講師	ウカハラ フミオ 東原 文郎 (37)	平成25年4月	地域社会演習A 体育実技	担当者変更(27) 担当者名追記(26)
兼任	講師	ナカザト ノゾミ 中里 のぞみ (52)	平成25年4月	エアラインサービス						
兼任	講師	スマギワ タクヤ 沼澤 拓也 (46)	平成25年4月	ストアオペレーション						
兼任	講師	ハヤシ ケンゴウ 林 研三 (62)	平成25年4月	くらしと社会						
兼任	講師	ハヤシ ユウコ 早矢仕 有子 (48)	平成25年4月	環境といのち						
兼任	講師	ヒシカタ ナオコ 土方 直子 (47)	平成25年4月	ビジネスマナー概論 ビジネス文書作成 ビジネスマナー実習A ビジネスマナー実習B	兼任	講師	ヒシカタ ナオコ 土方 直子 (49)	平成25年4月	ビジネスマナー概論 ビジネス文書作成 ビジネスマナー実習A ビジネスマナー実習B	担当者変更(27)
兼任	講師	ホリエ イクヤ 堀江 育也 (39)	平成25年4月	社会人基礎 B I 社会人基礎 B II 情報プレゼンテーション						
兼任	講師	ホリカワ テツ 堀川 哲 (66)	平成25年4月	倫理と社会						
兼任	講師	ホンダ ユウコ 本田 優子 (55)	平成25年4月	歴史と文化						
					兼任	講師	ニシダ ケン 西田 健 (52)	平成26年4月	体育実技	担当者変更(27) 担当者名追記(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	マダク ヨスタ 町田 洋介 (32)	平成27年4月	体育実技	担当者名追記(27)
					兼任	講師	マツモ フカ 松友 知香子 (41)	平成26年4月	札幌学	分野別に担当者を配置(26)
					兼任	講師	ムシヤ カエ 武者 加苗 (36)	平成26年4月	札幌学	分野別に担当者を配置(26)
					兼任	講師	ヤロ カキ 谷代 一哉 (43)	平成26年4月	体育実技	担当者名追記(26)
兼任	講師	ヤスタ ミツヲ 安田 貢 (43)	平成25年4月	体育実技						
兼任	講師	ヤマタ ミチヨ 山田 実千代 (62)	平成25年4月	心とからだB						
兼任	講師	ヨネタ ヒロシ 米田 浩 (58)	平成25年4月	健康論	兼任	講師	ヨネタ ヒロシ 米田 浩 (60)	平成25年4月	健康論 体育実技	担当者名追記(26)
兼任	講師	リキョウミン 李 景珉 (66)	平成25年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ	兼任	講師	リキョウミン 李 景珉 (68)	平成25年4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ	担当者減員(27) 担当者減員(27)
					兼任	講師	リ ラク 李 楽 (32)	平成27年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	担当者変更(27) 担当者変更(27)
兼任	講師	ワタナベ アサミ 渡部 あさみ (36)	平成25年4月	世界の文学	兼任	講師	ワタナベ アサミ 渡部 あさみ (39)	平成25年4月	世界の文学 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者変更(26) 担当者変更(26) 担当者変更(27)

- (注)・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○学部 △学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	3	0	0	10	6	3	0	1	10	65	5	65	6
(7)	(3)	(0)	(0)	(10)	[△1]	[0]	[0]	[1]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	金城 秀樹	定年退職(27)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記1の教員が担当する科目については、科目担当者を補充した。  
学生には、教員交代についてオリエンテーション・ガイダンスで周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
上記(4)による対応により、学生への影響はないと判断している。  
学生には、科目履修について影響がないことをオリエンテーション・ガイダンスで周知した。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月)	<p>○ 札幌大学と札幌大学女子短期大学部では、いわゆる合併科目（共通科目）として、33科目を同時開講している。このことについては、「大学は授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成する」と規定されている大学設置基準第19条第1項及び短期大学設置基準第5条第1項の趣旨を踏まえれば、共同で開設する教育研究上の合理的理由があり、かつ、大学と短期大学部それぞれにおける教育の質が担保されていることが必要である。</p> <p>しかし、調査において提出された同時開講科目に関する資料のみでは、これらの要件が満たされているか不明である。したがって、これらの要件を満たしているかどうかを速やかに検討し、その結果を文部科学省に報告すること。（キャリアデザイン学科）</p>	是正意見	<p>○ 本法人は、教育基本法及び学校教育法に従い私立学校を設置し、生気に溢れ、知性豊かな、信頼される人材を育成して地域の発展に貢献することを目的とする。この目的を達成するために、札幌大学と札幌大学女子短期大学部を設置し、平成25年度に、それぞれ「地域共創学群」「キャリアデザイン学科」を新設した。設置趣旨にあるとおり、大学と短大は、地域の発展に貢献する人材の基盤となる教養(体育等含む)、外国語教育さらには地域に関する学修を共通に重視している。対象となる地域は、近隣諸外国及び両校が立地する札幌である。</p> <p>○ 両校は同一キャンパス内にあり、教育資源を最大限に活用した両校学生への多様な学修機会の提供と同一研究棟での十分な事前事後指導が可能である。大学と短期大学部それぞれにおける教育の質が担保できると判断したものについてのみ、大学・短期大学双方の教務責任者による確認を経て、短期大学、四年制大学共通開講科目を設定する。</p>	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期大学1・2年次配当の科目区分「教養科目」については、四年制大学1年次配当の科目区分「基盤教育科目」のうち、授業概要、授業計画に整合するものについてのみ共通開講する。</li> <li>・短期大学開設の科目区分「専門科目、コミュニケーション系」中の既習言語「英語Ⅲ、Ⅳ（2年次配当）」及び初習言語「ロシア語Ⅰ・Ⅱ（1年次配当）、ロシア語Ⅲ・Ⅳ（2年次配当）」「中国語Ⅰ・Ⅱ（1年次配当）、Ⅲ・Ⅳ（2年次配当）」「ロシア語Ⅰ・Ⅱ（1年次配当）、Ⅲ・Ⅳ（2年次配当）」については、レベル分けされた四年制大学1年次配当の科目区分「基盤教育科目」中の「英語Ⅲ・Ⅳ」「ロシア語Ⅰ～Ⅳ」「中国語Ⅰ～Ⅳ」「ロシア語Ⅰ～Ⅳ」のうち、授業概要、授業計画に整合するものについてのみ共通開講する。</li> <li>・短期大学開設の科目区分「専門科目、札幌学（2年次配当）」は、四年制大学開設の科目区分「専門科目（地域創生）」2年次配当「札幌学」と共通シラバスのもと共通開講する。</li> </ul> <p>○ 是正の結果、共通開講科目数は別紙「同一法人の札幌大学（4年制大学）と同時開講の授業科目の運用について（平成27年度）」のとおり、23科目となる。</p>	
設置計画履行状況調査 （平成27年2月）	<p>○ 専任教員の中に、本学科の科目を担当するだけの教育研究業績が整っていない教員が含まれることから、短期大学設置基準第20条第1項の趣旨に鑑み、教員の業績と担当科目の内容を踏まえた適切な教員配置となるよう改めること。（キャリアデザイン学科）</p>	是正意見	<p>○ 教員の業績と担当科目の内容を踏まえた適切な教員配置となるよう、専任教員全員の業績を精査し、平成27年度の教員配置を行った。担当科目一覧は別紙「専任教員の業績分野と平成27年度担当科目一覧」のとおり。</p> <p>○ 短期大学設置基準第20条第1項の趣旨に則り、教育研究上の業績を一層積むことを全ての専任教員に課す。また、法人は履行を確実にするために、研究活動を支援すると同時に、監督・指導を行う。</p>	
設置計画履行状況調査 （平成27年2月）	<p>○ キャリアデザイン学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	<p>○ FD活動を強化し、学生の満足度をさらにあげ、高等学校に対する訴求力を高める。養成する人材像に見合った学習成果が身に付いているかどうかを把握するため、新たな取り組みとして卒業生の進路先からの評価の聴取を行い、教育活動にフィードバックする。学生募集に関しては、大学ポータルを積極的に活用するなど教育内容をより可視化し、広報渉外活動にあたる。</p> <p>○ 教育課程の改定について検討する。</p> <p>○ 学生の確保に向けて、様々な取り組みを展開するが、定員充足率が向上しない場合は、入学定員の見直しについて検討に入る。</p>	

<p>設置計画履行状況調査時 (平成27年2月)</p>	<p>○ キャリアデザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>○ 短期大学設置基準に定める必要専任教員数(9人)の内、平成28年4月1日時点で、2/3以上を定年年齢に満たない教員で構成するために、平成27年4月1日付け任用の助教1人について採用人事を行った。また、平成26年度をもって退職年齢を超える専任教員1人が退職した。この結果、必要専任教員数(9人)のうち、定年年齢に満たない教員は5人となる。</p>	<p>○ 平成28年4月1日までに「定年年齢に満たない専任教員」を1人補充する。また、平成27年度末をもって、退職年齢を超える専任教員1人が退職となる。この結果、必要専任教員数(9人)の内、定年年齢に満たない教員は6人となり、「必要専任教員数」の2/3に達する。</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成27年2月)</p>	<p>○ 既設学部等(英文学科、経営学科)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>○ 文部科学省大学設置室に英文学科、経営学科の廃止届を提出済。</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (平成27年2月)</p>	<p>○ FD活動の一環として授業アンケートを行い、その結果を大学のHPにて公表しているが、公開していることが学生に十分に周知されていないことから、周知方法を見直すなどしてより効果的なFD活動を行うことが望ましい。 (キャリアデザイン学科)</p>	<p>その他意見</p>	<p>○ 平成26年度授業アンケート結果をHPで公開する際、全学生にポータルサイトにて公開した旨お知らせ配信するとともに、配信内容をプリントのうえ全学生に配布し、周知を徹底した。 ○ より効果的なFD活動を行うため、平成27年度から短期大学部全教員を構成員とした、「女子短期大学部FDミーティング」を新設した。 ○ FD活動の効果を高めるために、学生代表、教職員代表とで定期的に意見交換を行う。</p>	

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <キャリアデザイン学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

平成26年度、FD活動を含む教員の資質の向上に関しては、全教員で構成する教授会がFD委員会等の機能を包摂することとした。平成27年度学則変更に伴い、教授会との機能分化をより明確にするために女子短期大学部FDミーティングを新設した。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教授会（平成26年度）及び全教員が参加するFDミーティング（平成27年度）を適宜開催し、関連する案件を報告・審議している。

###### c 委員会の審議事項等

- ・ 教員による授業改善について（アクティブラーニング等の教育手法、成績評価法）
- ・ 女子短期大学部が実施する各種プログラム（教育、就職支援、地域連携等）の十分な理解に基づく学生指導
- ・ 学生支援に必要な学生情報の共有・授業間の連携

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

（平成26年度）

- ①短大所属教員によるFDに関する意見交換会
- ②FDに関する講演会の開催
- ③学生FD委員会による「サツトーク」開催
- ④学外のワークショップ、学生FDサミット等への参加

###### b 実施方法

（平成26年度）

- ①短大所属教員によるFDに関する意見交換会：教員の資質向上に向けて、随時、意見交換会を実施。
- ②FDに関する講演会の開催：併設大学のFD推進プロジェクトと連携を取りながら実施。
- ③学生FD委員会による「サツトーク」開催：学生FD委員会主催による学生と教職員の意見交換会を実施。
- ④学外のワークショップ、学生FDサミット等への参加：併設大学のFD推進プロジェクトと連携を取りながら実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（平成26年度）

①短大所属教員によるFDに関する意見交換会

- ・ 随時開催（短大全教員参加）

②FDに関する講演会の開催

- ・ 4月 FD講演会「正攻法でV字回復しようーイメージからエビデンスへ」（短大所属教職員4人参加）

③学生FD委員会による「サットーク」開催

- ・ 4月 サットーク「留学生と語る それぞれの文化」（短大生30人参加）

④学外のワークショップ、学生FDサミット等への参加

- ・ 8月 平成26年度大地連携ワークショップへの参加（短大生3人参加）
- ・ 8月 学生FDサミット（京都産業大学）への参加（短大生1人参加）
- ・ 9月 学生FD会議（札幌大学）開催（短大生1人参加）
- ・ 12月 学生FDのWAへの参加（短大生1人参加）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教授会及びFDミーティングで、具体的な議論を行い、組織的に授業改善に取り組んでいる。

また、個々の教員は、担当授業の総括と抽出課題が記された「教育実践報告」を基に、授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 平成26年度春学期を対象に中間（5月）及び期末（7月）アンケートを実施した。
- ・ 平成26年度秋学期を対象に中間（11月）及び期末（1月）アンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果を大学ホームページにて公開している。

併せてアンケート結果をホームページにて公開している旨、全教職員、全学生に周知を行っている。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は平成25年4月から、これまでの英文学科と経営学科の2学科をキャリアデザイン学科に改組転換した。短期大学教育の伝統である教養教育を保持しつつも、より実践的なキャリア形成教育に重きを置き、「主体性をもって、現代社会を生き抜く教養を備え、他者とのきずなを育みながら協働し、公共の基盤を下から、誠実に支える気概をもって、地域社会を共創する人材の育成・輩出」を目指すこととした。

この目標を達成するため、体験知を重視したアクティブラーニングに関わるプログラムを充実させ、正課・課外において様々な取り組みを実施してきた。正課においては、航空、金融、観光、農業など地域社会の現場で学ぶ「インターシップ」や、海外で暮らし、異文化を理解する「海外研修」科目を用意し、「教室で身に付けた教養を実践する機会」を豊富に設けた。多くの学生が自らのキャリアデザインを描く貴重な機会として、積極的にプログラムに取り組む、大きな成果をあげた。また、正課外では「ボランティア活動」や「地域交流活動」ができる場や機会を多く提供し、社会貢献、地域づくりの実際を体験させた。学生たちは地域とのつながりを肌で感じ、自ら考え、行動する力を着実に育んでいる。

平成27年3月にキャリアデザイン学科の第一期生を輩出した。本学の「出会い・体験プログラム」を経験し、豊かなコミュニケーション能力、実践力等を身に付けた学生たちは、就職（就職率96.4%）や大学編入など、それぞれ進路希望を実現し、新しい一歩を踏み出した。学習成果の指標の一つである就職率において高い数値を達成できたことは評価できる。昨年度、今後の教育・就職支援の向上に役立てるため、企業・団体等の採用担当者を対象に本学卒業生に対するアンケート調査を実施したが、今後もこの取り組みを継続するとともに、卒業生自身に対する調査も加えて実施し、卒業後の学習成果を検証していきたい。

3年目を迎えた総括評価としては、多様なプログラムの提供による学生の主体的学習という目的は達成できているものの、教育の質保証の前提となる入学定員充足が未達状態にあり、この定員未達の解消が喫緊の課題である。この事実を重く受け止め、定員充足に向けた取り組みを一層強化したい。本学教職員はもとより、高校生、企業といったステークホルダーに対し、本学科の設置趣旨および教育内容の周知と理解を図り、オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問等の学生募集活動に総力をあげて取り組んでゆく。

現在、カリキュラムの見直しや各種プログラムの質的充実に向けた改革に着手しているが、今後も教育の質保証をより確実にするために、自己点検・評価のためのPDCAサイクルをしっかりと確立し、設置趣旨である「地域社会を共創する人材の育成・輩出」に向けて邁進していきたい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成27年度中を予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公表予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に一般財団法人短期大学基準協会の評価を受けるべく準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成27年6月 )